



プレス発表会

2024年11月5日(火)



一般社団法人組込みシステム技術協会 ET事業本部 本部長 渡辺博之
EdgeTech+ 事務局(株式会社ナノオプト・メディア) 大嶋康彰

実施概要について



今年のキャッチテーマ

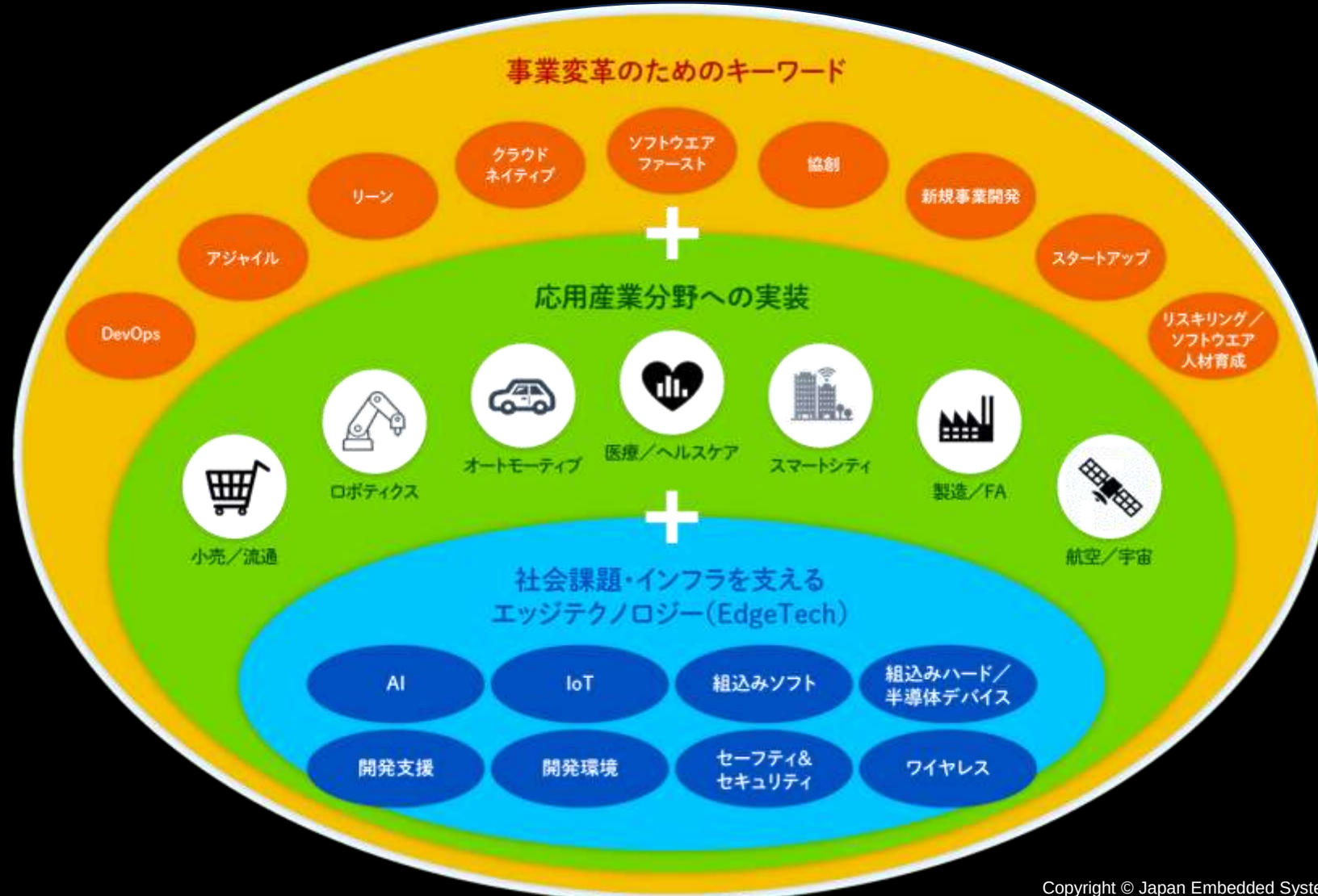
AI/生成AIで加速する事業変革と産業DX



名 称	EdgeTech+ 2024
会 期	リアル開催：2024年 11月20日（水）～11月22日（金） 10:00 - 17:00（11月20日は18時まで） セミナーアーカイブ配信：2025年1月6日（月）～1月31日（金）
会 場	リアル開催 パシフィコ横浜 展示ホール／アネックスホール
主 催	一般社団法人 組込みシステム技術協会
企画・推進	株式会社ナノオプト・メディア
後 援	経済産業省 / デジタル庁 / 横浜市 / 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） / 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO） / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 / 公益社団法人自動車技術会 / 一般社団法人YRP研究開発推進協会
協 賛	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 / 一般社団法人IT検証産業協会（IVIA） / 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 / 一般社団法人情報サービス産業協会 / 一般社団法人情報処理学会 / 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 / 一般社団法人スキルマネジメント協会 / 一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ） / 一般社団法人ディペンダビリティ技術推進協会 / 一般社団法人電子情報技術産業協会 / 一般社団法人日本電子回路工業会 / 一般社団法人日本電子デバイス産業協会（NEDIA） / 一般社団法人日本半導体商社協会 / 組込みシステム産業振興機構 / 台北市コンピュータ協会/台北市電腦商業同業公會/Taipei Computer Association
特別協力	一般社団法人Edgecrossコンソーシアム / 一般社団法人WSN-ATEC / 一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（ESD21） / 一般社団法人体験設計支援コンソーシアム（CXDS） / 特定非営利活動法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会（SESSAME） / 特定非営利活動法人TOPPERSプロジェクト / 特定非営利活動法人人間中心設計推進機構 / EMS-JPグループ / トロンフォーラム / 日本EDAベンチャー連絡会 / 派生開発推進協議会（AFFORDD） / モバイルコンピューティング推進コンソーシアム / ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会

コンセプト

事業変革期を迎えた今、
エッジテクノロジーに新たなプラスで顧客起点の価値創出を実現するイベントへ



イベント構成

【展示会】



【各種企画】



【カンファレンス】



【イベント内イベント】



- 昨年大好評のAutomotive Software Expoの拡大開催
- AI/生成AI分野の強化
- サイバーセキュリティ分野の強化
- メインカンファレンス会場を展示ホールに集約



Automotive Software Expo

オートモーティブ ソフトウェア エキスポ

SDV時代に向けての自動車開発と
ソフトウェア技術の専門イベント

★展示会の拡大

- ・国内外からより多くの企業を勧誘し展示規模の拡大と充実を目指します

★時代に合わせた3つのテーマを強化: 展示やセミナーで網羅します

- ・Connected時代に切っても切れない関係の「**自動車サイバーセキュリティ**」
- ・自動運転時代に加速する新たな車内体験を実現する「**次世代インフォテインメント開発**」
- ・車載システムへの実装や開発面での活用が進む「**生成AI**」

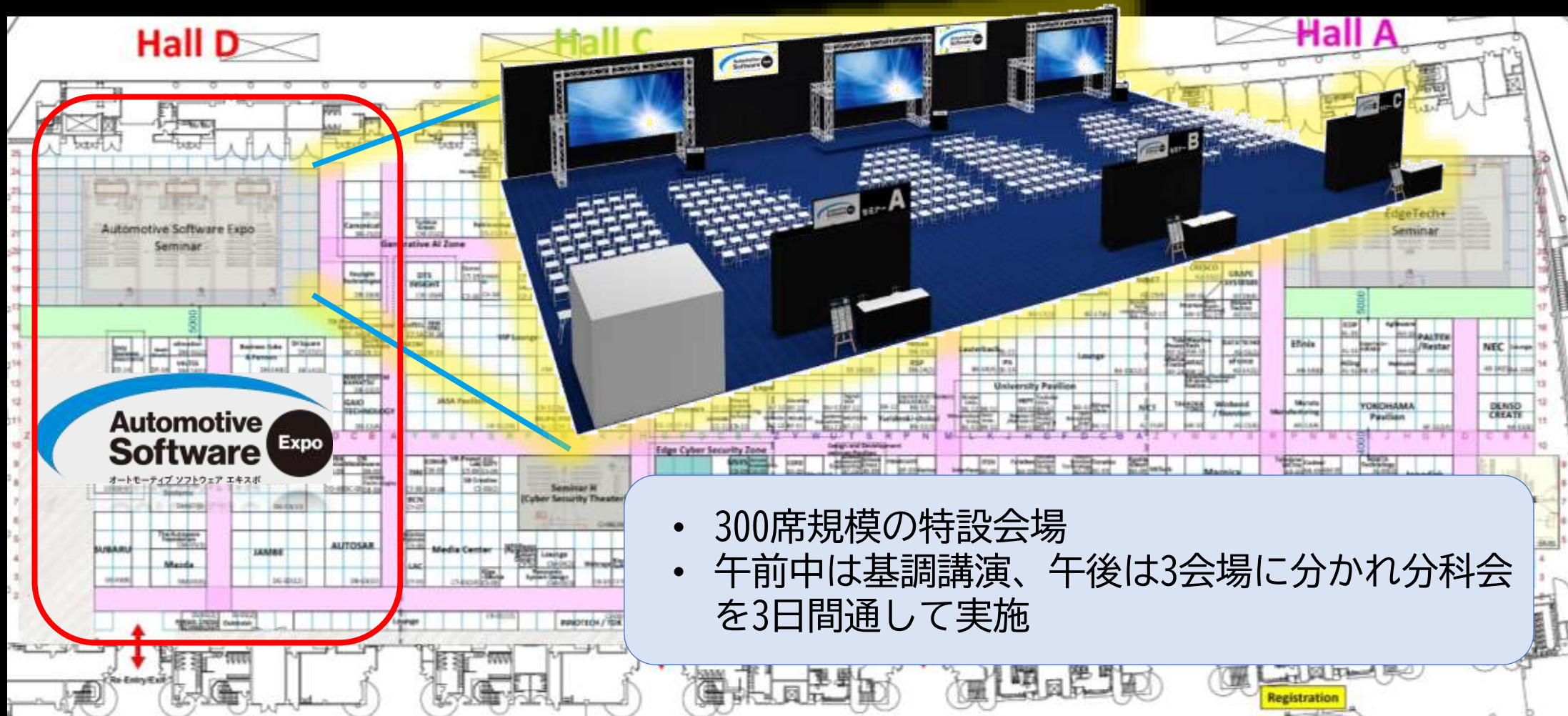
★国内外の業界団体との更なる連携強化

- ・セミナー、展示会にて昨年以上の連携強化を行い、自動車業界との親和性を高めます
- ・JAMBE, AUTOSAR, Japan Automotive ISAC

★自動車メーカーによる車輛展示

- ・今年はSUBARU、マツダの協力により車輛展示を実施

展示ゾーン＋展示会場内オートモーティブソフトウェアエキスポ専用セミナー会場
ソフトウェア技術に特化したセッション＋展示



- 300席規模の特設会場
- 午前中は基調講演、午後は3会場に分かれ分科会を3日間通して実施



マツダ株式会社
R&D戦略企画本部 技監 兼 MDI&IT本部 技監
足立 智彦



株式会社SUBARU
執行役員 CDCO(最高デジタルカー責任者) 技術本部 副本部長
SUBARULab 所長
柴田 英司



日産自動車株式会社
先進機能&サービスプラットフォーム本部 プログラムマネージメント部 部長
山内 進一郎



チューリング(株)
CTO
山口 祐



経済産業省
製造産業局自動車課モビリティDX室長
伊藤 建



名古屋大学 大学院
大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター センター長
未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 所長
Open SDV Initiative代表
高田 広章



国際自動車ジャーナリスト
神奈川工科大学 特命教授
清水 和夫

マイクロソフト、VicOne、イータス、ボッシュ、PwC、
ブラック・ダック・ソフトウェア他



10月17日先行予約開始
「SUBARU ストロングハイブリッド初搭載
クロストレック」



マツダの新フラッグシップモデル
「MAZDA CX-80」

自動車業界団体連携



JAMBE会員企業によるパビリオン展示
プレゼンステージを会期中3日間開催



11月21日(木)
自動車サイバーセキュリティセミナーを終日実施



AUTOSAR会員企業によるパビリオン展示



THE
AUTOWARE
FOUNDATION

「Autoware」を組み合わせ、工場等の屋外環境で
自動運転レベル4での搬送可能な「eve auto」の展示



公益社団法人 自動車技術会

11月21日(木) 13:00-17:00
自動車技術会 モビリティガバナンス社会実装検討委員会
公開委員会

分科会セッション *一部抜粋

講演企業/団体

NVIDIA Japan	Shifting Gear in Automotive AI: From LLM to Foundation Models
JASPAR	SDVに求められるサイバーセキュリティとJASPARにおけるセキュア開発への取組
The Drivery Japan	YOKOHAMA x THE DRIVERY欧州モビリティ・SDV最新事情 欧州最大規模のモビリティイノベーションハブ THE DRIVERYのアナリストによる解説
トヨタ自動車	SDV時代の組織的なオープンソース推進について
SUBARU	AIを安心して社会へ適応していくためのSUBARU Labのこれまでの歩みと今後の展望
クアルコムシーディエムエーテクノロジーズ	次世代車載電子プラットフォームに向けたクアルコムの提案
Advanced Micro Devices Inc.	AMD社のリアルタイム決定論的センサーを実現するEdge AIソリューションとDigital Twinソリューション
J-Auto ISAC	SDVにおけるソフトウェア品質確保と脆弱性への対応
本田技研工業	Honda 車載Android OS のための SW 開発環境紹介 ～大規模化への挑戦！～
エピック ゲームズ ジャパン	Unreal Engineでの自動車業界におけるリアルタイム技術の活用
J-Auto ISAC	UN-R155および各国規則を見据えたサイバーセキュリティ対応の進め方

・ AI/生成AIアドバイザリーボードの新設



井崎 武士

エヌビディア(同)
エンタープライズ事業本部
事業本部長



泉 宏志

クアルコムシーディーエムエ
ーテクノロジーズ(有)
マーケティング統括本部長



岡本 京

アマゾン ウェブ サービスジャ
パン(同)
技術統括本部 エンタープライ
ズ技術本部 ハイテク・製造・自
動車産業グループ 本部長



北瀬 公彦

グーグル・クラウド・ジャパン
(同)
マーケティング本部
AI Marketing Strategist



木村 崇志

STマイクロエレクトロニクス
(株)
マイクロコントローラ・デジタ
ルIC・RF製品グループ シニア
マネージャー



志村 泰規

インテル(株)
プラットフォームスケーリング
グループ エッジソフトウェアソ
リューションスペシャリスト



田丸 健三郎

日本マイクロソフト(株)
業務執行役員 ナショナルテク
ノロジーオフィサー



藤谷 つぐみ

Advanced Micro Devices
Inc.
Senior Business
Development Manager AI
marketing group Adaptive
Embedded and AI group

・ 展示場にて生成AIゾーンの実施

- サイバーセキュリティゾーンの設置
- サイバーセキュリティシアターの設置
(Automotive Software Expoと合同)
- Smart & OT Security Zone powered by NSHC

毎年ラスベガスで行われる世界最大のセキュリティコンファレンス「DEFCON」と、世界最大のハッキング大会「BLACKHAT」で6年連続インストラクターを務めている「NSHC REDAlert」のハンズオンテストベッドをラスベガス開催内容そのまま展示



会場利用計画

- パシフィコ横浜展示ホール全館、一部アネックスホールを利用
- 約300社の出展(新規出展企業108社)



各種企画

<特別企画>

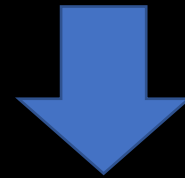
Automotive Software Expo
画像認識AI Expo

<企画イベント>

仮説検証ブートキャンプ
EdgeTech+ アワード 2024
オープンイノベーションサミット横浜
EdgeTech+ フェスタ
ETロボコンチャンピオンシップ大会
交流祭典 2024 in 関東
TAIWAN Edge AI DAY
第67回組込みシステム研究発表会

<テーマゾーン/パビリオン>

設計開発サービスパビリオン
半導体設計/EDA/IPパビリオン
ユニバーシティパビリオン
+(プラス)パビリオン
・リスキリング/ ソフトウェア開発人材育成

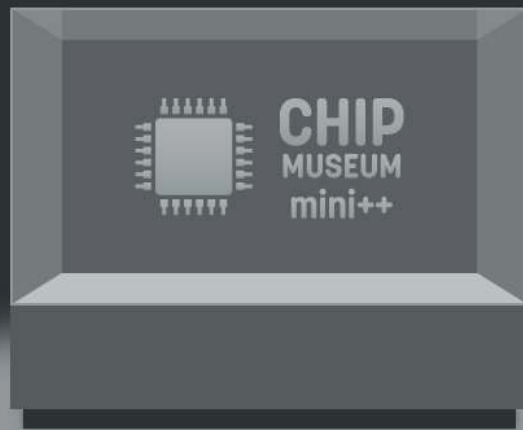


生成AIゾーン
エッジサイバーセキュリティゾーン



チップミュージアム mini++

それぞれの時代を牽引したチップたち



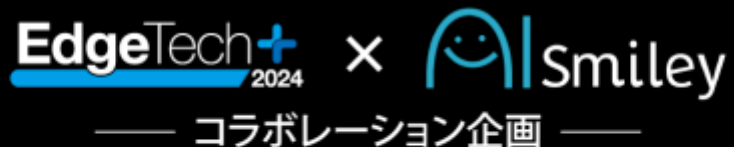
- ✓ 歴史的なCPUを展示したチップミュージアム -mini-がさらにパワーアップして今年も「EdgeTech+ 2024」会場に帰ってくる！
- ✓ 昨年度の周辺チップを含めたプロセッサファミリーやボード展示のさらなる充実に加え、コラボ企画も登場！

今年のトレンドを視覚的に分かりやすくした大好評のカオスマップを今年も実施！



- 今年も会期中日にフェスタを実施
- 出展各社がビールあり、ワインあり、吟醸酒ありと、多彩な飲み物やおつまみなどをご用意
- 気軽に出展社とコミュニケーションを取り合うことが可能！
- 11月21日の開催終了時間が18:00になります





Vision AI Expo

画像認識 AI EXPO

多種多様な分野で活用が期待される

「画像認識・解析AI技術」の最先端

今年もセミナーと展示を実施

製造業における生成AIの活用～ カメラ映像からの危険判別
アマゾン ウェブ サービス ジャパン

画像認識AIによる導入事例と開発事例のご案内
トリプルアイズ

映像認識AI×LLM
～人物行動理解:見えるものから見えないもの、そして生成へ～
NEC

認識AI・生成AI・IoTで実現する次世代 業務自動化の最前線
～マルチモーダルな活用で業務効率を劇的に向上
アステリア

生成AI時代をリードするための高効率なLLM開発・運用環境の構築
～GPU利用の最適化 Fixstars K4
フィックスターズ

- ・ 2024年11月20日(水)パシフィコ横浜アネックスホール
- ・ 多くの企業の研究開発拠点を誘致し、積極的にオープンイノベーションを手掛ける横浜市・横浜未来機構との連携によるビジネスマッチプログラム
- ・ プレゼン終了後は質疑や名刺交換などビジネス交流を行うプログラム

1、三菱電機の共創基盤 ”Serendie Street”

三菱電機(株)

執行役員 DXイノベーションセンター長

朝日 宜雄

2、ロボットの遠隔操作による新しいビジネス創出

(株)R 2 社長室・CEO

イ ヘギ氏

3、生成AI技術を用いた移動支援技術。

～アナログのメリットを生かしながら合理性を用いたデジタル～

LOOVIC(株) 代表取締役

山中 享 氏



2024年11月22日(金)13:00~16:00
仮説検証ブートキャンプ 企画プレゼンテーション



11月20日(水) テスト走行日
11月21日(木) 競技会
11月22日(金) モデリングワークショップ
ETロボコンチャンピオンシップ大会



11月20日(水)15:00-19:30
組込みシステムエンジニア交流祭典 2024 in 関東



11月20日(水)、21日(木)
情報処理学会 第67回組込みシステム研究発表会



11月21日(木) 14:00-16:00
台北市コンピュータ協会
TAIWAN Edge AI DAY エッジAI / 台湾半導体最新事情



横浜市との 連携サイドイベント

1、次世代半導体技術の革新と挑戦

～横浜における半導体の未来とは～

- ・ 日時:11月20日(水) 18:00～20:15
- ・ 会場:TECH HUB YOKOHAMA
- ・ 主催:横浜未来機構、横浜国立大学、横浜銀行

2、YOKOHAMA x THE DRIVERY

- SDVが変える未来の移動と生活

- ・ 日時: 11月21日(木)17:30～20:00
- ・ 会場: TECH HUB YOKOHAMA
- ・ 主催 横浜市、The Drivery Japan

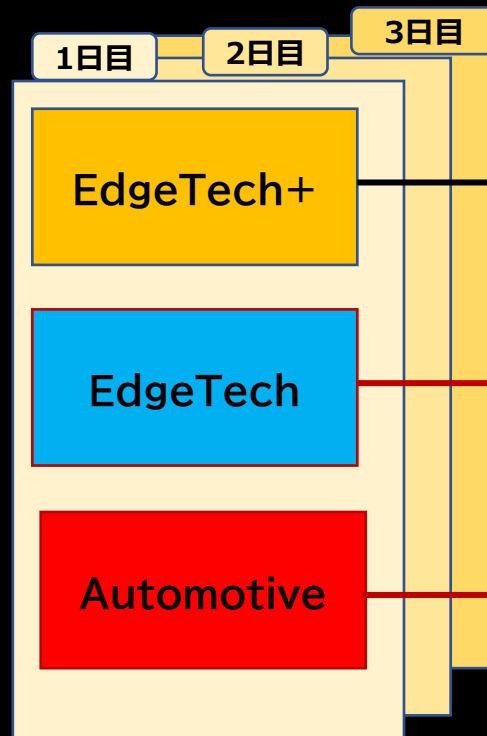
カンファレンスについて

EdgeTech+ カンファレンス委員長 山田敏行
EdgeTech+ 事務局(株式会社ナノオプト・メディア) 大嶋康彰

3分野の基調講演、テーマ別セッションを3日間に渡って実施

* 基調講演: 企業、官公庁、大学のキーパーソンによる大規模講演

* テーマ別セッション: 旬の技術テーマを取り上げ、解説するセミナー



生成AI、クラウドネイティブ、DevOps、アジャイル、DX等、
事業変革のためのトピックス

AI、IoT、ワイヤレス、組込みなどエッジテクノロジーに関する
トピックス

Automotive Software Expoのセッション

基調講演: 生成AI/AI



日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員 エバンジェリスト
西脇 資哲



エヌビディア合同会社
エンタープライズ事業本部 事業本部長
井崎 武士



日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員 ナショナルテクノロジーオフィサー
田丸 健三郎



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
エンタープライズ技術本部 ハイテク・製造・自動車産業グループ
製造第二ソリューション部 部長
森實 裕司



Google Cloud Japan
執行役員 AI事業本部長
橋口 剛

他

基調講演：組込み・IoT・サイバーセキュリティ



東洋大学
情報連携学学術実業連携機構
(INIAD cHUB) 機構長
坂村 健

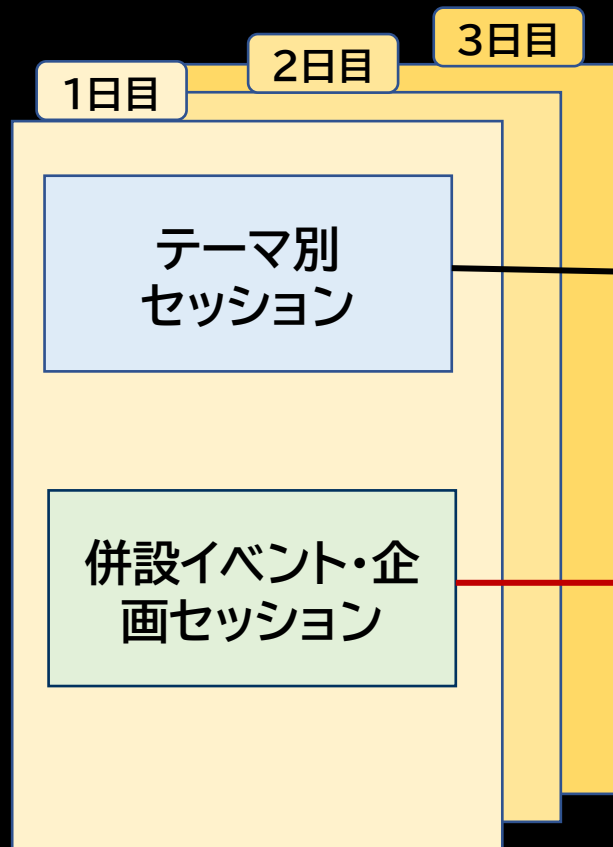


株式会社ソラコム
テクノロジー・エバンジェリスト
松下 享平



東京大学大学院
情報理工学系研究科 教授
江崎 浩

テーマ別セッション、併設イベント



国内外の企業・団体による旬の技術テーマを解説するセミナー

画像認識AI EXPO、オートモーティブソフトウェアエキスポ、
その他、台北市コンピュータ協会など関係団体と連携したセッション

合計130セッション以上を予定

テーマセッション *一部抜粋

講演企業/団体

株) ソシオラボ・京都大学経営管理大学院・デンソー	生成AI利活用の取り組み、それで大丈夫？ ～毒舌パネルディスカッション～
クレスコ	生成AIが切り拓くソフトウェア開発の未来
アマゾン ウェブ サービス ジャパン	製造業における生成AIの活用～ カメラ映像からの危険判別
TMI総合法律事務所	「AI事業者ガイドライン」が求めるセキュリティ対策
Hugging Face, Inc.	AI開発を支えるHugging FaceのオープンソースAIエコシステム（仮）
一般社団法人生成AI活用普及協会	”AIツール導入後に直面する「利用率の壁」。企業導入推進の鍵は生成AIリスクリング”
フィックスターズ	”生成AI時代をリードするための高効率なLLM開発・運用環境の構築
日本電気株式会社	”映像認識AI×LLM～人物行動理解：見えるものから見えないもの、そして生成へ～”
グーグル・クラウド・ジャパン	生成 AI による DevOps プロセスの改善、そして Edge への導入
PwCコンサルティング	生成AI活用の日米比較
TMI総合法律事務所	汎用的な生成AIを用いた特許の取得方法（仮）
クアルコムシーディーエムエーテクノロジーズ	クアルコムのAI戦略とAI HUBの紹介
アステリア株式会社	認識AI・生成AI・IoTで実現する次世代 業務自動化の最前線 ～マルチモーダルな活用で業務効率を劇的に向上
デンソー	生成AIとアジャイル

テーマセッション *一部抜粋

講演企業/団体

インテル	エッジデバイスでの推論を高速化するモデル圧縮の技術基礎
パナソニック サイクルテック	電動アシスト自転車におけるEdgeAIの搭載事例と実用化までの成功体験についての共有
アマゾン ウェブ サービス ジャパン	組み込みソフトウェアにおける 開発・改善の高速化の取り組み（仮）
クリエイションライン	”製造業でもアジャイルを！開発現場とアジャイル推進チームを行き来しながら社内に広めていくアプローチ”
S k y	汎用マシンにおけるAI活用のテクニック
情報処理学会	”IoT製品のセキュリティ確保に向けて～ セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度のご紹介 ～”
アットマークテクノ	”LinuxベースのコンテナOSで実現、セキュアなIoT機器開発～セキュリティ要件適合評価制度(JC-STAR)への対策～”
情報セキュリティ大学院大学	大規模言語モデルによるサイバー攻撃対応技術の研究動向
山下技術開発事務所合同会社	産業と社会インフラを守るOTセキュリティ
INIAD（東洋大学情報連携学部）	世界標準リアルタイムOS「μT-Kernel 3.0」最新情報
慶應義塾大学大学院	新技術が生み出す新価値をデザインするためのアーキテクチャ方法論
重要生活機器連携セキュリティ協議会	”国内IoTラベリング制度をどう活用できるか？～スマートホームを事例として考える～”

JASAセミナー

担当部門

人材育成事業本部	生成AI人財活用パネルディスカッション ～生成AIの流れに組み込みソフトウェア開発を生業とする企業はどう対応すべきか～
JASA国際交流委員会	【JASAグローバルフォーラム】 グローバルサウスのリーダー インドの動向と日本の取り組み
組み込みシステムセキュリティ委員会	サイバーセキュリティ動向 SBOMの活用 ～委員会の取り組みとSBOM動向の紹介～
ドローンWG	ドローンシミュレータ利活用 ～箱庭使って、ドローンでデジタルツイン的な体験～
コモングラウンド委員会	Society5.0を実現するためのエッジテクノロジーの役割 ～コモングラウンド委員会の取り組みと自律化工場のPoC事例紹介～
スマートライフWG	笑う門には福来る 画像認証による笑顔の認識技術
アジャイル研究会	アジャイル成功への道 ～品質保証部のアジャイル実践・ダークアジャイルの事例から学ぶ～
AI研究WG	組込AIの現状の紹介と、組み込みでの生成AIの可能性について
OpenEL活用WG	OpenELが変える組み込みシステム開発
RISC-V WG	JASA版カスタムチップ作りへの挑戦とRISC-V関連団体との協創
	「Engineering a Safer World(STAMP)」翻訳本の紹介とクレーン安全設計の応用事例



EdgeTech+ AWARD 2024

各賞と詳細発表

審査員一覧（敬称略）

【審査委員長】

山田 敏行 ETカンファレンス委員会 委員長

【副審査委員長】

横田 英史 ETラボ 代表 コンサルタント 技術ジャーナリスト

【審査員】

小澤 拓治 CQ 出版社 代表取締役

【審査員】

中山 俊一 テクニカル・ライター / EJoint 代表

【審査員】

平本 健二 独立行政法人情報処理推進機構 デジタル基盤センター長

【審査員】

志度 昌宏 株式会社インプレス DIGITAL X(デジタルクロス)編集長

【審査員】

板羽 晃司 株式会社アイスマイリー代表取締役

【審査員】

三浦 和也 株式会社イード レスポンス編集部 編集長

【審査員】

今井 拓司 技術ジャーナリスト

【審査員】

渡辺 博之 一般社団法人組込みシステム技術協会 ET事業本部長

【審査員】

武部 桂史 一般社団法人組込みシステム技術協会 専務理事

各賞結果

Edge Technology 優秀賞

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

組み込みソフトウェア開発 on AWS ～仮想化で組み込みソフトウェア開発・改善の高速化～

【講評】

仮想化環境で組み込みシステムのDevOpsを実現するAWSのサービス。主な特徴として、

- ①ハードウェアがなくても開発を始められる、
- ②開発者の増減に合わせてリソースをスケールできる、
- ③開発・テスト用ハードウェアを最小限に抑えられる点が挙げられる。

AWSが提供するIoTサービスや開発者向けサービス、Analyticsサービスなどと組み合わせることで、ユーザ分析やソースコード管理、リリース、テスト、デプロイメント、OTA、データ収集などもサポートできる。

間違いなく今後のトレンドとなる、仮想環境下での組み込みシステムのDevOpsやCI/CD(継続的なインテグレーション/継続的なデプロイメント)をワンストップで実現している点が、時宜にかなった提案として審査委員会から高く評価された。スクラッチからの開発に比べて迅速かつ効率的に組み込みソリューションを提供できるところが評価のポイントだった。IoT機器や自動車、航空機、ロボットなどの開発への適用が期待されるとの意見もあった。

Edge Technology 優秀賞

Codasip GmbH

CHERI(Capability Hardware Enhanced RISC Instructions) ～世界の脆弱性を半減できる画期的な英国発のソリューション～

【講評】

ソフトウェアの安全性を高めるために、マイクロプロセッサ(例えばRISC-V)の命令セットを拡張する技術。英ケンブリッジ大学で開発された技術を独Codasipが製品化したもの。ソフトウェア開発で広く使われているCやC++はメモリ保護が考慮されておらず、セキュリティ上の脆弱性の一因となっている。CHERIに対応したコンパイラとマイクロプロセッサを用いることで、既存のCやC++のプログラムを大幅に書き換えることなく、安全性を向上させることができる。

組込みアプリケーションにかかわらず、ソフトウェアの脆弱性対策が喫緊の課題であることは言を俟たない。審査委員会は、CやC++で書かれたソフトウェアが抱えるバッファオーバーフローやメモリリークといった脆弱性に対し、既存のプログラムにほとんど手を加えることなく再コンパイルで対応できる実用性の高さと使い勝手の良さを高く評価した。採用件数が増えているRISC-Vの命令セットアーキテクチャに対応していることに注目する意見もあった。

AI / 生成AI 優秀賞

Secondmind株式会社

Secondmind適合ソリューション

～AIがエンジニアの判断力を拡張、より良い性能を短期間で実現～

【講評】

制御変数を入力とし、性能・制約条件を出力とした機械学習モデルを構築し、制約条件を満たしつつ性能が最適となる制御変数の値を予測するソリューション。例えば、ICE(内燃機関)やモーター開発における適合(キャリブレーション)プロセスにおいて、実験計画から実験計測、モデル作成、最適化、検証の工程を置き換えることが可能である。AIが予測した箇所だけを試作機で計測することで、制御範囲を網羅的に計測する従来手法と比較して実験回数・実験期間および試作機の数減らせる。減少傾向にある熟練エンジニアへの依存軽減にもつながる。

審査委員会は、ものづくり現場における開発・設計プロセスの今後の方向性を示したソリューションである点を高く評価した。現時点ではまだ浸透していないものの、今後の発展が期待できることが評価のポイントだった。事例として内燃機関とモーターの開発が挙げられているが、他の分野への展開を予想する意見もあった。

オートモーティブ ソフトウェア 優秀賞

NIRA Dynamics AB

タイヤグリップインディケーター ～車載の路面 μ 推定ソフトウェア～

【講評】

CANなどの車載ネットワークに流れるデータ(車輪の速度や各種センサー情報)に基づいて、装着しているタイヤと路面との間に発生している摩擦係数(路面 μ)を推定するソフトウェア。通常走行時を含め、タイヤのグリップを常時監視しており、路面が滑りやすくなりつつある状況を検知可能である。クルマが滑ってから路面 μ を推定するトラクションコントロールシステムやABSなどに比べ、より早く路面状態を把握できる点に特徴がある。

審査委員会は、センサーなどのハードウェアを追加することなく、ECUにソフトウェアを実装するだけで路面とタイヤ間の摩擦を把握できる本技術は、SDV時代に向けたタイムリーな提案である点を高く評価した。タイヤの状態(摩耗)の把握を求めるEuro 7などの規制にも対応可能な点も評価ポイントだった。本技術から得られる情報を活用し、滑りやすい路面マップを配信するサービス「ロードサーフェイスアラート」と併せて評価する意見もあった。

オートモーティブ ソフトウェア 優秀賞

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

生成AIを支えるコア技術(Transformer)の車載適用 ～組み込みTransformer高速化技術～

【講評】

生成AIにも使われている「Transformerモデル」を軽量・高速化することで、クルマのECUへのAI適用を可能にした技術。ECU向けSoCに組み込むことを想定しており、推論精度を確保しながら、クルマにおけるリアルタイム処理に使える推論速度を実現した。例えば悪天候時に、雨/雪/霧といったノイズを車載カメラの映像からリアルタイムで除去することが可能になる。エッジデバイスのECUで推論を実行するので、リアルタイム処理だけでなくプライバシーへの配慮も可能である。審査委員会は、自動運転における安全性の確保を、車載センサーの増設による冗長性向上といったハードウェア的な手法ではなく、AI技術を用いたカメラ映像からのノイズ除去というソフトウェア的な手法で達成している点が、SDV時代の要請に応えた提案であるとして高く評価した。車載バッテリーの消費電力を抑えるために、ソフトウェアとECUの軽量化に配慮した点も評価のポイントとなった。Transformerモデルの適用事例としてユニークな点を評価する意見もあった。

JASA 特別賞

株式会社コア

Cohac[∞] Ten++

～みちびきCLAS・MADOCA・信号認証対応GNSS受信機～

【講評】

位置計測では、GPSは、自動車のナビゲーションに使われ普及しているが、誤差の多さから、いくつかの手法との併用が当たり前になっている。この“みちびき”を使ったCohacoo Ten++は、MADOCA・CLASに対応して、海上でも使用可能で、独自に数センチの誤差で、位置が特定できるので、今後、スマート農業、スマート水産業、ドローン、測量、インフラ整備等はもちろん、災害時の対策にも活用できるものである。防水、防塵で過酷な環境下での利用が可能のため、特に、屋外のIoT機器にとって不可欠であり、さらに公開鍵認証システムを備えていることは、ハッキング対策として大変効果的と認められる点も評価ポイントとなった。

JASA 特別賞

株式会社CRI・ミドルウェア

CRI SOLIDAS

～ソフトウェアで創る新時代の音響システム～

【講評】

ゲーム開発で蓄積した技術を、モノづくりに展開されている会社で、この、CRI SOLIDASは、ハードウェアの性能の限界を使って、音に関して研究開発成果として、新サウンドシステムを開発されたことは、IoT機器、組込み機器開発に於いて、大変有意義である。その効果として、小型化、省エネ、コスト低減はもちろん、マルチメディアで重要な音に関してのソリューションを広げることができた点を評価した。

音は、アナログの世界で、ハードウェアのエンジニアの人材不足対応が叫ばれる中、ハードウェアも含めたシステムをソフトウェアで作成できるツールは、マーケットに沿った製品となっている点も評価ポイントとなった。

出展各社が展示予定の 新製品情報

エフィニックス合同会社

新製品名: 【新製品！】Titanium Ti375 N1156開発キット

発売時期: 2024年10月末

製品特徴:

複数のプロトコルをサポートする Ti375のフルデュプレックスストランシーバー、ハード化された 1GHzクアッドコア RISC-Vブロック、レーンあたり最大 2.5Gbpsのハード化された MIPI D-PHYとハード化された LPDDR4/4xコントローラーが搭載されていますので、すぐに評価が可能です。



株式会社ゼネックコミュニケーション

新製品名: IoT Station Lite

発売時期: 2024年8月8日



製品特徴:

IoT Station Liteは、簡単に使えるIoTプラットフォームサービスです。連携済みセンサーを自由に組み合わせて、貴社独自のDXを「簡単に」実現できます。端末登録・ユーザー登録などの初期設定も簡単に登録が可能です。

株式会社Codeer

新製品名: Codeer.LowCode.Blazor

発売時期: 2024年6月11日

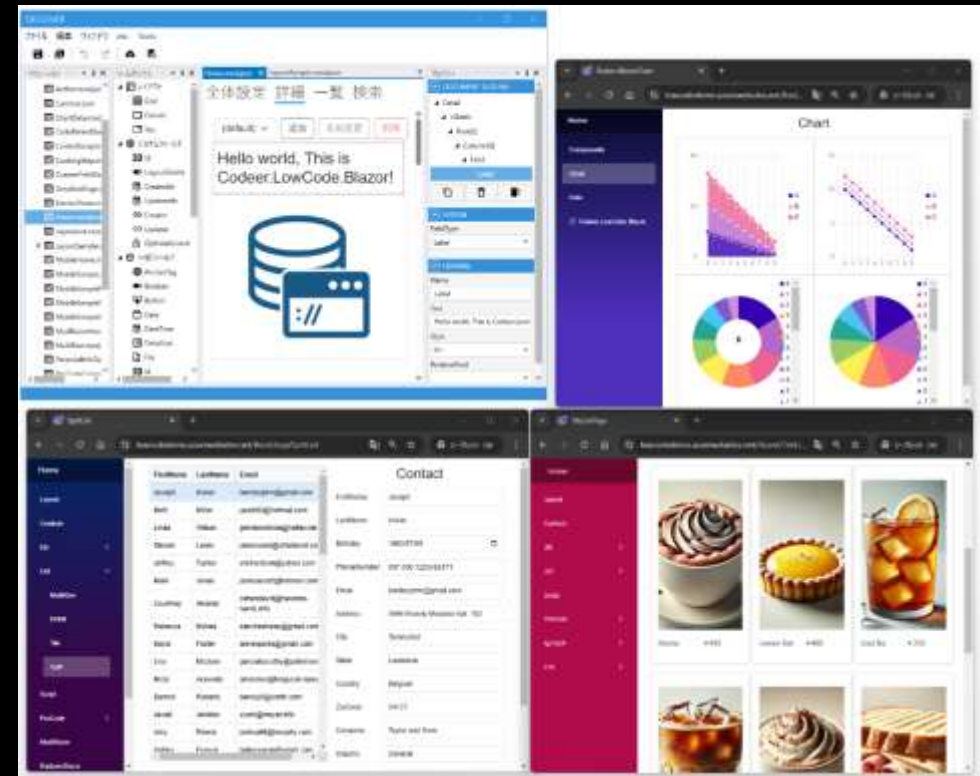
製品特徴:

NET 開発者の皆様、待望の新ライブラリが登場です！

ローコードアプリを「使う」ではなく「作る」ことができます。

迅速な開発と既存資産の有効活用、そしてエンドユーザー様へのローコード機能の提供が可能になります。

AI連携も簡単で画像からデータ取り込みなど様々な便利な機能をご利用いただけます。



株式会社ユリ電気商会

新製品名: AI-SBC「Kakip(カキピー)」

発売時期: 2024年10月1日



製品特徴:

「Kakip(カキピー)」はルネサスのAI-MPU "RZ/V2H"をコアに搭載、その性能を名刺サイズに凝縮した国産のAIシングルボードコンピュータです。3種類のCPUをマルチOSで制御できる他、TOPS/Wに優れたAI画像処理アクセラレータ等で4chのカメラ映像の高速処理が可能です。

Secondmind株式会社

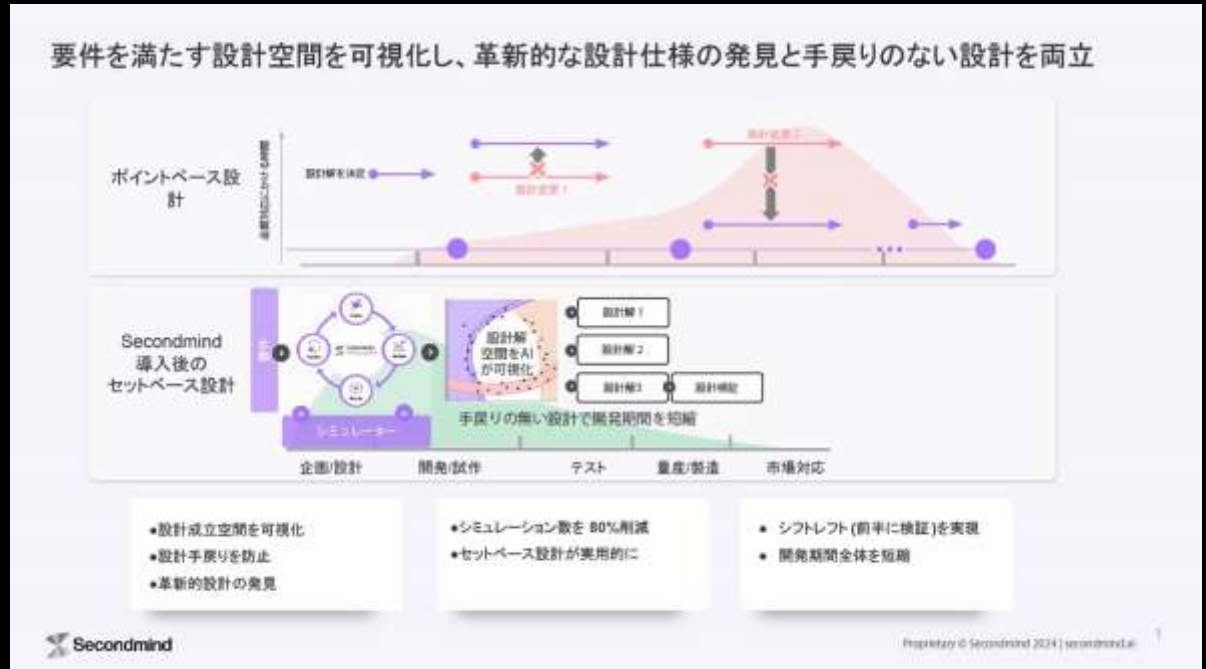
新製品名: Secondmind for System Design

発売時期: 2024年12月

製品特徴:

設計初期段階で、AIが設計変数と性能要件の関係を可視化、経験則では気付けなかった革新的な設計仕様の発見や、要件を外れない設計開発を実現。

従来の最適化ツールは、網羅的な計算が必要で時間がかかったが、本製品は要件を満たす設計値をAIが予測することで、計算数を大幅削減しつつ、成立設計解の集合を検出する。



NECグループ

新製品名:軽量プログラム改ざん検知

発売時期: 2024年7月16日(発売済み)



製品特徴:

NEC独自の許可リスト型セキュリティソフトウェア「軽量プログラム改ざん検知」が、自動車や医療機器、産業機器などに採用されている組み込みOS「QNX」にも対応しました。

自動車のECUなどのようにHWリソースに制約のある機器にも導入することができ、稼働中でも高速・低負荷な検査を実行可能です。

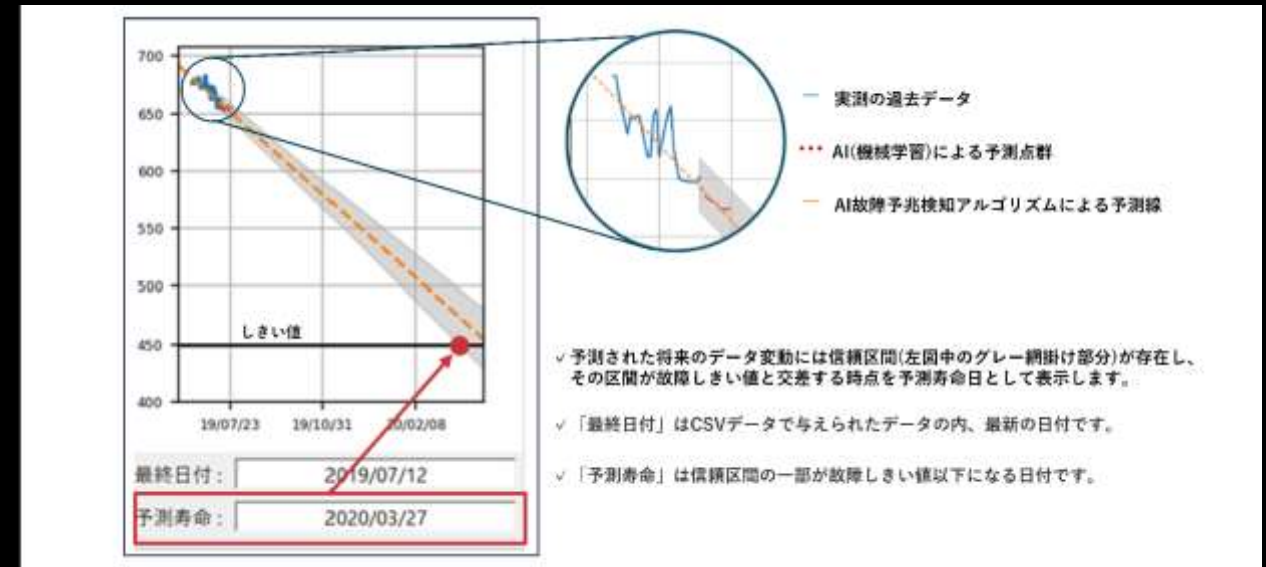
株式会社エイシング

新製品名:故障予兆検知アプリケーション

発売時期: 2024年8月15(木)

製品特徴:

機器や消耗品の故障時期が一目で分かるようになる業界初の特許取得技術です。従来の線形回帰による推定方法では、予測精度が低く、予期せぬブレイクダウンが発生する可能性があります。弊社の独自AIを使用した本アプリケーションを適用すると、機器や消耗品の個体差に対応した、高精度な故障予兆検知が可能となります。



株式会社アルファプロジェクト

新製品名: AP-RZV2-0A

発売時期: 2025年3月

製品特徴:

AP-RZV2-0Aは、ルネサス エレクトロニクス社製「RZ/V2H」を搭載したCPUボードです。

高性能なArm Cortex-A55 Quad+R8 Dualコアに加え、AI機能として、AIアクセラレータおよびDRPを内蔵し、ファンレスで最大80TOPSのAI推論を実現します。

マツダ株式会社

新製品名: MAZDA CX-80

発売時期: 2024年10月10日

製品特徴:

CX-80は、歓びと余裕を与える走りと環境性能、優雅さと品格が際立つデザイン、乗員を新しい体験へと誘う高い快適性と機能、ドライバーに寄り添う先進安全装備、を提供するマツダの国内最上級SUV。Edge Tech+ 2024では、ドライバーの異常検知時に減速停止や緊急通報で被害を低減する「ドライバー異常時対応システム」の一部を体感頂けます。



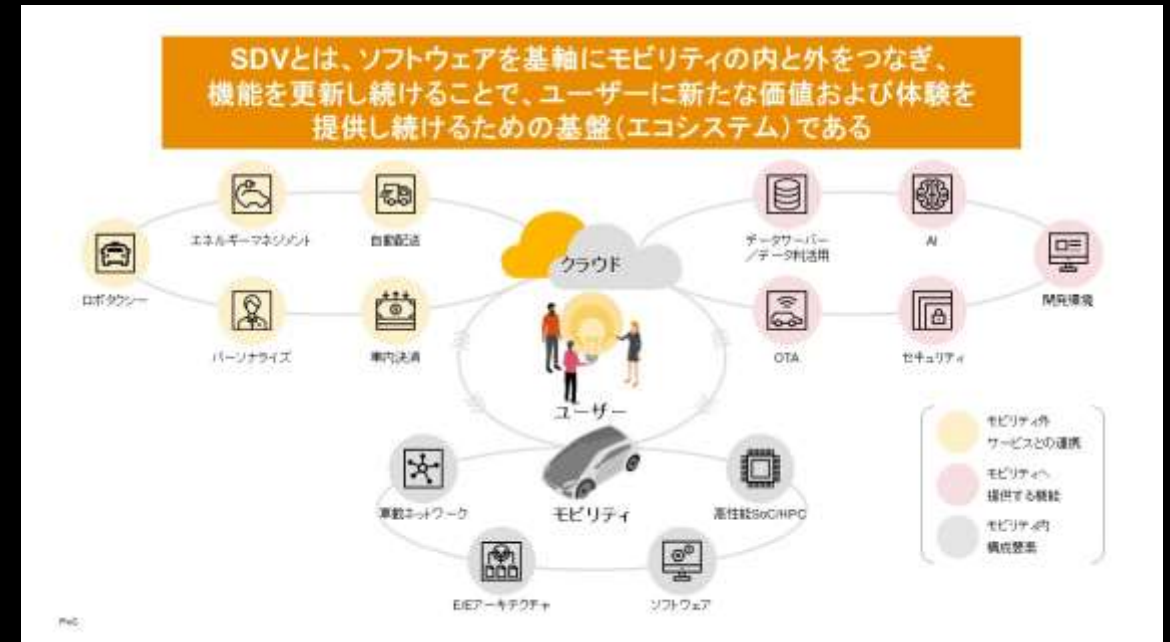
PwCコンサルティング合同会社

新製品名: SDVイニシアチブ

発売時期: 2024年8月1日

製品特徴:

複数部門から専門人材を集めた横断組織「SDVイニシアチブ」を立ち上げ、SDV(Software Defined Vehicle)エコシステムの実現に取り組む企業に対して、ソフトウェア事業企画から、SDV開発、販売後のソフトウェアアップデート、車両外サービスなど高度かつ多岐にわたる課題の解決を支援する総合的なサービスの提供を開始します。



ノルディック・セミコンダクター株式会社

新製品名: nRF9151 SiP

発売時期: 2024年9月5日

製品特徴:

Nordicより大規模IoT市場向け最小かつ最低消費電力のセルラーIoTソリューション「nRF9151」提供開始。完全統合された事前認証済みのSiPで、米国関税が適用されず、LTE-M/NB-IoTおよびDECT NR+をサポートし、アプリケーションMCUまたは単独のモデムとしての機能を装備。



<リリース内容> (ご参考)

<https://www.nordicsemi.jp/news/nordic-semiconductor-nrf9151-for-global-cellular-iot/>

イノテック株式会社

新製品名:国産産業用エッジ・オンプレ顔認証「EdgeFACE」

発売時期: 2024年4月

製品特徴:

【EdgeFACE】は国産顔認証技術と国産産業用PCを組み合わせた本邦初の純国産エッジ・オンプレAI顔認証です。
クラウド不要なのでセキュリティに優れMOQ1台からの提供・SDKの無償提供により驚くほど簡単に
スモールスタートが可能です！
工場やオフィスのDX化に最適な製品となります。

INNINGS EdgeFACE
Conceitful Innovator

本人認証や入退室用途に

国産 産業用エッジ・オンプレ顔認証

スモールスタート、素早く量産

項目	エッジ・オンプレ	クラウド
MOQ	1台	100台
導入	簡単	やや複雑
拡張性	高	低
セキュリティ	高	低
コスト	低	高

適用例: 製造業DX・オフィスDX・産業機器DX

入退室管理、工場内の監視、受付案内

ICカードやQRコード、パスワードログインの代用に
顔の検出やパスワード忘れ、ICカード置き忘れの検出なし
IEC62443-4-2 FR1/2 工場のセキュリティ規格でユーザー認証が必須

主なAPI 機能一覧

機能	EdgeFACE	競合製品
顔検出	高精度で顔検出が可能	精度が低い
顔認証	高精度で顔認証が可能	精度が低い
顔検出・顔認証	高精度で顔検出・顔認証が可能	精度が低い
顔検出・顔認証・顔検出・顔認証	高精度で顔検出・顔認証・顔検出・顔認証が可能	精度が低い
顔検出・顔認証・顔検出・顔認証・顔検出・顔認証	高精度で顔検出・顔認証・顔検出・顔認証・顔検出・顔認証が可能	精度が低い

動作環境(ネイティブ開発)

- 産業用エッジPC "INNINGS" 長期供給・高耐久・高信頼
- 対応OS Windows10 IoT Enterprise, Debian 12.5
- 対応言語 C++, C#, Python

比較表

比較項目	エッジ顔認証	クラウド顔認証
個人情報保護	○	△
高信頼性(レスポンス)	○	△
アップグレード	○	△
情報共有	○	△
運用コスト	不要	必要

イノテック株式会社
EdgeFACEは、国産産業用エッジ・オンプレAI顔認証技術です。
お問い合わせ: 02-2611-1111

株式会社Sound One

新製品名: Sound One

発売時期: 2024年10月1日

製品特徴:

Webを使った音の感性評価を提供するSound Oneは、アーティスト集団

・1D-CAEベンチャーとアライアンスし、製品開発の上流で、デジタルサウンド、機械の稼働音を生成し、聴感評価結果を物理パラメータと紐づけるアジャイルサウンドデザインを提案します。音に画像や動画を加えた評価も可能になりました。



株式会社アドバネット

新製品名: Leyline N1開発キット

発売時期: 2024年10月



製品特徴:

今秋発売の「Leyline N1 開発キット」は、LoRaWAN対応のIoTノードを簡単にお試しいただけるキットです。標準搭載の温度センサーに加え、加速度センサーも同梱。数キロにわたる長距離通信と長寿命バッテリーにより、手作業の削減に貢献、PoC検証に最適です。新たなデータ活用の可能性をお試しください。

イー・フォース株式会社

新製品名: Wi-Fi HaLow™アプリケーション開発キット 「μC3-WLAN SDK 11ah」

発売時期: 2024年10月



製品特徴:

本製品は、Wi-Fi HaLow™(IEEE802.11ah)通信を実現するためのSDKです。これにより、ネットワークI/FとしてWi-Fi HaLow™の選択が可能になり、伝送距離は従来のWi-Fiの約10倍の数kmになり、伝送速度もその他のLPWA通信よりも速い数Mbpsを実現できます。

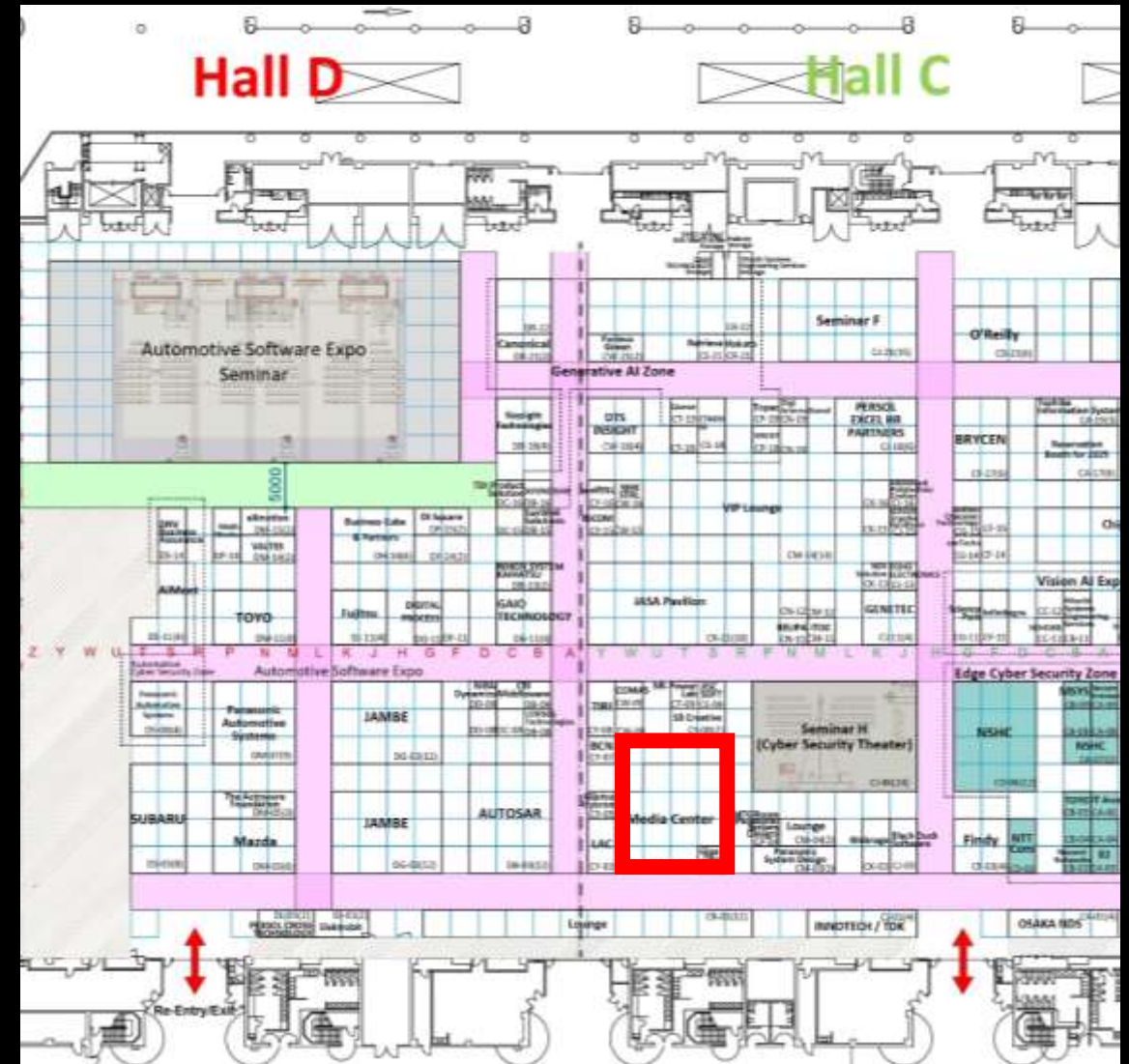
11/20(水)-11/22(金)にパシフィコ横浜で開催される本展では、総合受付のプレスカウンターにお名刺2枚をお持ちいただき、プレスバッジをお受け取りください。また、展示会場内に「メディアセンター」をご用意しますのでぜひご利用ください。

■お問合せ先

EdgeTech+ 事務局(株式会社ナノオプト・メディア内) PR担当
mailto:pr-info@f2ff.jp

【会期】2024年11月20日(水)- 22日(金)10:00 - 17:00
(21日(木)のみ18:00まで)

【会場】パシフィコ横浜:展示ホール／アネックスホール



EdgeTech+ 2024

パシフィコ横浜にてお待ちしております